

未来をつなぐ



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院



すまいるみと

リニューアル特集

外来（救急部・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科）の紹介

健康管理センター

外来がリニューアルしましたのでご紹介します。

一階外来においては、総合診療部の所に車椅子専用トイレができ、広く明るく使
いやすくなりましたので、ご利用ください。

二階外来ではエレベーターを降りるとすぐ眼科外来、耳鼻科外来があります。

眼科では、眼の検査を受けられる患者様の導線がよくなり、車椅子などでもスムーズに入室できるようになりました。耳鼻科においても、診察室が広くなり、ストレッチャーや車椅子の入室がスムーズになり診察しやすくなりました。また、皮膚科・泌尿器科も広くなり、検査、処置、診察がスムーズに行われ、どの診療科においても、患者様のプライバシーが守られるようになりました。

今後もスタッフ一同安全で安心して診察が受けられるよう努力して参ります。

外来師長 根本 茂子

救急部



救急部が新しくなりました。この度は紙面をお借りして皆さんにとって普段馴染みの薄いであろう救急部の活動についてお話をさせていただきます。

様々なドラマで救急医療が取り上げられるようになって久しいですが、この場所では時にドラマ以上の現実が繰り返られます。現在当院に救急専門医は一人しか在籍しておりません。水戸中心部の救急医療を支える病院におけるこの事実を聞く不安に思われる方もおられるかもしれません。日本全体の病院と救急専門医の数を照らし合わせるとこれが日本の現状であり専門医が多数在籍する施設の方がむしろ少数なのです。ただし施設

毎の救急専門医の数が必ずしも提供する医療の質を担保するものではありません。当院の救急部では日中は救急専門医、夜間は各科指導医とともに研修医たちが必死になって働いています。そして当院救



救急処置室

救急部と比べる
とまだまだ小さなスペースですが動線を意識して配備された3床のベッドや必要最低限に選び抜かれた整備された備品からは救急医



療に対する真摯な姿勢を随所に感じ取ることが出来ます。小さな変化ではありませんがこの一歩が当院救急部の目指す北米型「Emergency Department」への大きな一歩となることを信じて止まみません。もちろん一度お越し下さいとは申しませんがこの救急部の存在が水戸市民の心の拠り所となれば幸いです。

救急部 児玉 泰介

耳鼻咽喉科

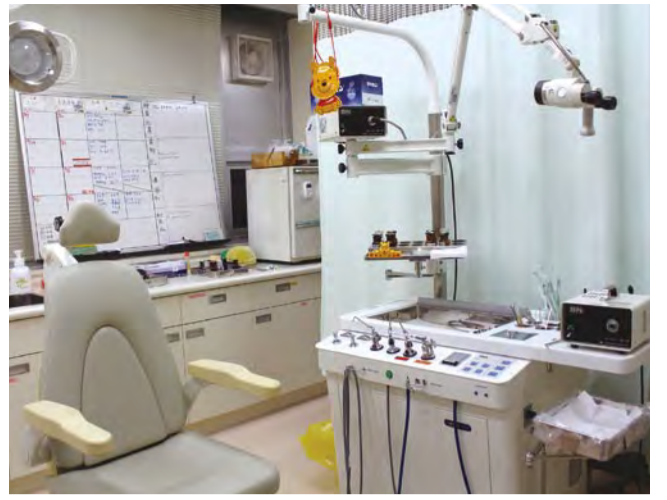
3月下旬に耳鼻咽喉科外来がリニューアルいたしましたので、ご報告にあわせて、耳鼻咽喉科の新しい設備などを紹介をさせていただきます。

場所は、本館二階の旧整形外科外来の西側のエリアになります。以前の耳鼻科の位置からみますと、ほぼ真向いの位置に移動したことになります。

以前の診察室では第一診察室と第二診察室が同じ一つのスペースにあり、耳鼻科の診察ユニットで別れている状態でしたが、今回の移動によって、各々の診察室が独立した診察スペースとすることができました。また、以前の外来では、診察前に中待合室に入っていたが、そこでも待つという形でしたが、現在は、眼科耳鼻科共用の広いスペースでお待ちいただき、名前を呼ばれた方が直接、診察室に入って頂く方式に変更させて頂いております。これらの変更で、患者様のプライバシー保護に、一層配慮できたと考えております。

また、中待合室を無くしたことにより、診察室への経路がより短くなったことと、診察室自体のスペースの拡大したことによって、ストレッチャーや車いす移動の患者様の診察や診察室内での移動が以前の診察室に比較して格段に容易になっております。

今回の移動に前後して、診察機器や検査機器の更新も行いました。第一に聴力



新 診察ユニット



新 聴力検査機

第二には、赤外線式フレンツェル眼鏡というめまいを診断するための特殊な眼鏡を導入いたしました。この機械は、めまいの際に認められる眼振という眼球の動きを、赤外線CCDカメラをもちいて暗所下に確認・モニターに映し出すことができます。この機械によって、通常では見つけづらい眼振を発見することができるようになり、診断が困難なめまいの診察のたすけになると考えております。

検査の機械・ティンパノグラムと言う鼓膜の可動性をみる検査機器・耳小骨筋反射という大音量を聞いたときに鼓膜をゆるめる筋肉の反射をみる機械が更新されました。これらの機器は、PACSという当院の検査・画像ファイリングシステムに連動する予定です。PACSに連動することで、過去の検査の閲覧をコンピュータで行える、他の科の医師が聴力検査の結果を容易に確認できるようになるといったことが可能になる予定です。このシステムがしっかり運用されたあかつきには、他科の医師との診療協力、以前の検査との比較などが容易に行えるようになり、患者様の利益にもなると考えております。また、機械自体の能力も向上しており、ティンパノグラム・耳小骨筋検査にかかる時間が短くなっております。



赤外線式フレンツェル眼鏡

耳鼻咽喉科外来ではなく、検査部内の検査になります。聴性脳幹反応（以下ABR）の検査機器と顔面神経誘発筋電図（ENoG）の検査機器が導入されました。ABRは、刺激音を聞いて聴覚神経系を興奮させ、脳幹部でおこった反応を頭皮上より記録する検査です。この反応は、意識や睡眠状態の影響を受けにくく、極めて再現性のよい安定した波形が得られるため、感音難聴や脳幹障害の診断など幅広く臨床応用されています。簡易式のものには乳幼児の聴覚障害のスクリーニングに使われています。耳鼻科領域では聴神経腫瘍・機能性難聴の診断に非常に有効です。かつては当院でも施行していましたが、機器が老朽化していたため施行困難となり、この新しい機械が導入されるまでは、茨城県メディカルセンターで検査をお願いしておりました。今回、検査部内の脳波検査を行う機器で行えるようになりましたので、聴神



耳鼻咽喉科外来スタッフ

診療曜日

	月	火	水	木	金	土
午前	青柳	秋月 湊谷	青柳	湊谷	秋月 青柳	交代制
午後	手術	秋月 湊谷 【腫瘍外来】 【予約制】		手術	予約検査 【無呼吸外来】 (予約) 手術	

経腫瘍や機能性難聴の診断が院内で速やかにできる様になりました。ENoGは、顔面神経の神経変性を定量的に評価できる検査で、顔面神経出口付近（耳下部）で顔面神経を刺激して、表面電極から口輪筋（口を動かす筋肉）の活動電位を記録します。健側の反応と比較して神経の障害の程度や回復力の判定を行います。以前から当院で行っていた検査ではありましたが、検査機器が老朽化しておりました。この度、検査部内

の筋電図検査を行う機器をもちいて検査できるようになり、顔面神経麻痺の予後の判定がスムーズに行えるようになりました。

すこし以前の話になりますが、2009年の筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの開設時に、NBIfつき電子喉頭ファイバーが導入されました。NB I (Narrow Band Imaging) とは、狭帯域光で病原を観察することで、がんの栄養補給路である粘膜表層の毛細血管や粘膜微細模様の変化などを、色調の違いとして強調表示する機能です。この機能を用いることで、がんの早期発見、病変の悪性度や範囲診断に有効です。特に、通常の内視鏡検査ではわかりにくい粘膜内に限局するような早期のがんや病変の発見に有効とされております。

当科では、このような診断・検査機器の更新を随時行っていく、当科を受診していただいた方により質の高い医療を提供できるよう日々努力しております。

耳鼻咽喉科 青柳 安典

皮膚科



図1 (診察室1・2)

3月～6月にかけて、耐震・改修工事を経て、皮膚科の外来も新しく生まれ変わりました。今回は、改善



図5 皮膚科 処置室

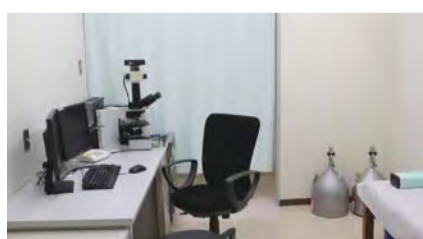


図3 診察室2



図4 紫外線照射室(黒壁 足洗い場)

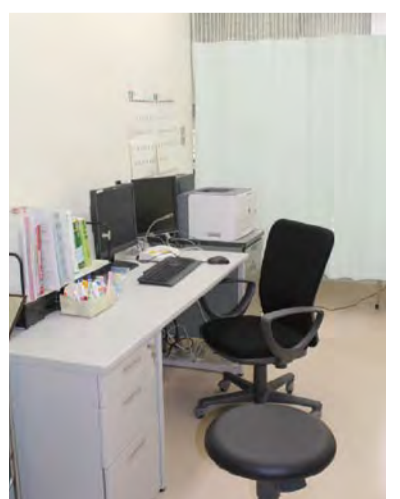


図2 診察室1

された点などを中心に紹介いたします。今まで皮膚科は、2つの診察室と奥の処置室1ベッドで診察していましたが、今回新しく広い診察室を2ブース(図1・2・3)と、紫外線照射室1部屋、泌尿器科と共同の処置室を整備していただきました。過去の診察室は、カーテン1枚で待合室と、薄いパーテーションで隣の診察室

と仕切られている状況で、患者さんのプライバシー保護が必ずしも十分でなかった部分もありましたが、新外来では仕切りの壁の厚さはもちろん、診察室も広く設計され、患者さんに心地よく受診していただける環境を準備できたと自負しています。

紫外線照射室は、主に乾癬やアトピー性皮膚炎患者さんのUV A照射治療に使用しますが、黒壁を用いることで、全身の写真撮影も行える部屋になっています。同時に、下肢を洗浄するための、足洗い場を設置し、外来での処置などを効率的に行える工夫を盛り込んでいます(図4)。

泌尿器科と共同の処置室(図5)は3ベッドを有し、点滴を行う患者さん、状態が悪く休まれる患者さんに使用していただくよう考えています。

今まで狭い診察室で、患者さんにご迷惑をおかけしていた部分もありましたが、新外来/診察室で今まで以上に地域の患者さんの皮膚疾患の治療に貢献していけるよう、スタッフともども精進してまいります。ぜひ、一度本館2Fの新外来にお越しください。

皮膚科 田口 詩路麻

眼科

眼科外来が本年度4月より移転しリフトアップされました。

入口受け付け横のエレベータ、もしくは階段で2階に行くとき目の前に位置しております。全体的に以前より広くなり明るい雰囲気に変わりしました。

これからすまいるみと読者のみなさんを眼科外来の中へご案内していきます。

受付



2階に上がる
とすぐにそこは
受付です。

耳鼻科眼科
共通の受付になりました。より
効率的に受付いたします。

外来待合室

受け付けがすんだら外来待合室。BGMが流れ、モニターからは環境ビデオが流れます。

以前の待合より広くなりました。ゆったりくつろぐ、とまではいかないかもしれませんが、こちらで少しお待ちください。



外来待合室

さて、いよいよ眼科外来の内部に入っていきます。

診察室

新しくなった診察室です。明るくなりました。診察の時は電灯は消して暗くなります。患者さまへの説明用モニターも用意しております。眼の状態を実際に映し出し、実際に見ていただくことで、わかりやすい医療を心がけています。



診察室

視力検査

5m視力表が2列あります。旧外来では広さの都合で処置ベッドと重なっておりご不便があったと思いますが、新外来では、快適に視力検査を受けていただけるようになりました。



視力検査

レーザー室

眼科外来の最深部に位置するレーザー室。



レーザー室

ところ狭しと機器が並んでおり、形は似ていますがどれも違う検査・治療のための機器です。糖尿病網膜症や網膜裂孔の治療に使うレーザー、眼底をうつすカメラ、眼の長さを測る超音波機器といった、どれも眼科の治療には欠かせない機器です。

旧外来では診察室からろうかを歩いて離れたレーザー室で検査・治療を受けていたのですが、新外来ではスムーズに検査・治療を受けていただくことができます。

視野室



視野室

緑内障など、視野異常を測定する機器です。新外来では視野室も外来の内部にあります。

少し時間がかかる検査ですが、緑内障や視神経の病気の状況を判断するために、とても大切な検査です。



一同写真

な検査です。

さて、いかがでしたでしょうか？
今まで狭い診察室で患者さんにご迷惑をおかけしていた面もありましたが、新しくなった外来・診察室で今まで以上に地域のみなさまの眼科診療に貢献していきます。ようスタッフ一同、取り組んでまいります。

何か眼でお困りのことがあればご相談ください。

眼科 真壁 健一

医事課よりお知らせ

本館2階外来フロアー リニューアルオープン

本館2階の外来フロアーの耐震工事が終了し、リニューアル致しました。6月18日より『皮膚科外来』と『泌尿器科外来』の診察室が新しくなり、本年5月に改装が済んだ『耳鼻咽喉科外来』、『眼科外来』と合わせて本館2階の外来の改装工事が一部分を除き完了しました。

各科外来診察室を新たに個室のように区切り、患者様のプライバシーに配慮したかたちになっております。診察スペースも広くなり待合スペースも広がりました。

2階フロアーにも車椅子専用トイレを新設致しましたので、是非ご使用ください。

各科診察室改装に伴い、2階の外来受付も一か所にまとめました。階段を上がりまして右斜め前方に『皮膚科』・『泌尿器科』・『耳鼻咽喉科』・『眼科』の4つの診療科受付を行う窓口がございます。

7月23日より新しい内視鏡室が2階外来フロアーにオープンしました。耐震工事もしばらくで終了しますので、患者様には何かとご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願い致します。

医事課 佐藤

健康管理センター

健康管理センターが新しくなりました



新しく広がった窓口です

6月18日(月)本館3階へ場所を移しリニューアルオープンいたしました。待合フロアは壁が白いため明るく広くなり、受診者の方々にゆつくりとくつろいでいただけるようになりました。

また、ワンフロアに集約したため、健診室と心電図室が近くなり、検査が円滑に行えます。さらに、診察を待ちいただく中待合もでき、二部屋ある診察室の一部屋を保健指導や健康相談時に使用することでプライバシーに配慮できるようになりました。

健康管理センターの業務紹介

健康管理センターでは、医師2名、保健師2名、事務員3名のスタッフを中心に、各種健康診断、健康相談、当院職員健康管理などの業務を行っています。健康診断実施にあたっては、農村部や地域住民の健康を守るために、JA組合員を対象にした「農業従事者健診」や「水

戸市各種がん検診・特定健診」の実施など、JAや自治体と連携した取り組みを行っています。

また、「一日人間ドック」や「脳ドック」、「肺ドック」、JA職員や協会けんぽ加入事業所などを対象にした「生活習慣病予防健診」、事業所の定期健診、一般健診など多種多様な健診にも積極的に対応しています。

上記のほかにも、労働局から依頼されるじん肺・石綿・有機溶剤等の特殊健康診断などの産業保健業務、保健師による農業従事者健診事後指導などの保健活動も可能な限り行っています。

JAとの新しい取り組み

JA水戸が今年度から取り組みを進めている「JA水戸いきいき健康づくりプロジェクト」に健康相談として協力しています。JA組合員や地域住民の心と体の健康づくりにJAと共に支援をしています。



ストレッチ中



保健指導中



健康管理センタースタッフ

皆様が気持ちよくリラックスして健康診断を受けていただけますよう、新しい環境でスタッフ一同これからも笑顔忘れずにサービスの向上に努めてまいります。

健康管理センター 中庭 正

水戸農協



金融店舗窓口

水戸農協は水戸協同病院の地元のJAとして、金融店舗窓口と売店を営業させていただきます。

今年5月からは、本館1階の外來待合室奥から本館地下1階のフロアに移動してリニューアルオープン。売店に隣接したスペースには、自動販売機とテーブルと椅子を置き、ゆったりとした空間でご自由にくつろいでいただけるようになりました。電子レンジと電気ポットもあり、お食事や談話スペースとして、また待ち時間を有効に使える場所として皆様にご好評です。是非一度のぞいてみてください。



ラウンジスペース



自動販売機もあります



売店Yショップ

パンとJAが提携して、今までどおり医療関係のものも多く扱いながら、お弁当やパン、お菓子・飲み物・雑貨類の種類を増やしました。Yショップでしか買えない「豆いっぱい大福」は連日売り切れになる人気商品です。



名物の豆大福

新しい売店の場所が分かりづらいとのことのお声を多くいただき、お声をお聞きいただきありがとうございます。正面玄関のフロアから、エレベーターか階段で1階分下りていただければすぐです。病棟とは、病棟2階の通路でつながっていますので、そちらからが便利です。是非生まれ変わった明るい本館地下フロアにお越し下さい。お待ちしております。

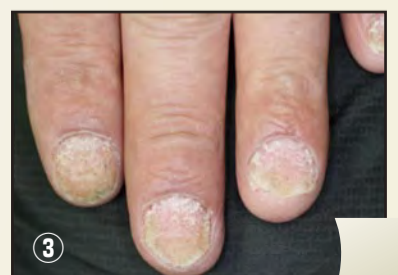
水戸農協 水戸協同病院出張所

皮膚科クイズ vol.2

監修：皮膚科 科長 田口 詩路麻

Q. ずばり、次の写真で「爪白癬」はどれでしょうか？

①番? ②番? ③番?



解答・解説は6頁にあります。

コラム 研究員に聞いてみよう



「20歳時のやせ過ぎ」と「20歳以降の大幅な体重増加」—妊娠糖尿病発症を予測

肥満に起因する健康障害が世界的に問題となっている一方で、近年の日本では、若い女性のやせ過ぎも肥満同様、問題となっています。平成22年国民健康・栄養調査結果によると、20代女性の「やせ: BMI (体格指数) が18.5 kg/m²未満」の割合は29.0%と、およそ3人に1人が「やせ」に該当し、生理的に体重増加が求められる妊婦をも巻き込んで、若い女性の痩身化が進んでいます。国レベルでこれほど顕著に、出産可能年齢にある若年女性層のBMIが低下しているのは世界的にも稀な状況です。出産可能年齢にある若い女性においても肥満は世界的に問題になっており、肥満であると妊娠糖尿病になりやすいことはよく知られていましたが、20歳時にやせていた女性は、「標準」体型であった女性と比べて、妊娠糖尿病を発症する可能性がむしろ高いことが、筑波大学水戸地域医療教育センター内分泌代謝・糖尿病内科研究室の谷内洋子研究員・曾根博仁教授らの調査で明らかとなり、英国糖尿病学会誌に発表されました。

この研究では、糖尿病になったことがない健常な女性624名を対象に、初診時に20歳時の体重について質問紙を用いて調査し、20歳時のBMIおよび20歳以降のBMI変化と妊娠糖尿病発症との関連を検討しました。妊娠中期までに28名が妊娠糖尿病を発症し、妊娠糖尿病のリスク因子と考えられている年齢や出産歴、妊娠(初診)時BMIの影響を調整した上で、20歳時のBMI、20歳以降のBMI変化量と妊娠糖尿病発症との関係を調べた結果、20歳時のBMIが18未満の人は、18以上(BMI18~24.9)の妊婦に比べて妊娠糖尿病を発症する可能性が4.85倍高く、また、20歳時から妊娠時までのBMIの変化量が1.85以上だった人は、1.85未満の人より妊娠糖尿病発症の可能性が2.40倍高いことがわかりました。さらに20歳時BMIが18未満の人は、20歳時BMIが

18以上で、かつ妊娠時までのBMI変化量が1.85未満の人に比べて6.30倍高いことが明らかになりました。このことから、20歳時の低いBMIおよび20歳以降のBMI増加が、それぞれ単独ならびに相乗的にも、妊娠糖尿病発症を予測する有用な指標である可能性が示唆されました。

妊娠糖尿病を経験した人は、そうでない人に比べ、将来糖尿病を発症しやすいことが知られています。肥満であると妊娠糖尿病になりやすいことはよく知られていましたが、20歳時の低いBMIが妊娠糖尿病発症のリスク因子である可能性が示されたことは、欧米人に比べてBMIが低いアジア人女性において、重要な意義を持つ可能性があると考えられます。高校生から30代くらいまでの広い世代でやせ過ぎの女性が多いのはわが国の特徴で、将来様々な健康障害につながることを指摘されていますが、本研究では20歳時のやせ過ぎが将来の妊娠時の糖尿病に結びつく可能性が示されました。妊娠するよりはるか前である小児期からの適切な食生活習慣が重要であるとともに、「やせていること=美しい」というような社会的風潮や意識を見直す必要があるかもしれません。

Yoko Yachi, Yasuhiro Tanaka, Izumi Nishibata, Ayumi Sugawara, Satoru Kodama, Kazumi Saito, Hirohito Sone: Low BMI at age 20 years predicts gestational diabetes independent of BMI in early pregnancy: Tanaka Women's Clinic Study, Diabet Med (in press)



《水分補給を習慣に!》

猛 暑のシーズン到来。これからの季節に欠かせないのが水分補給です。

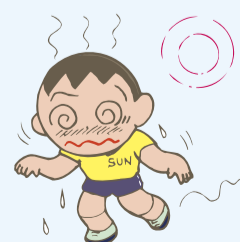
皆さんは日常のシーンに応じた水分補給ができていますか?

去年は、節電に努めた暑い夏でした。脱水症状や熱中症を経験された方もいらしたと思います。

からだから水が失われることは、生命にもかかわる一大事。水はいのちの源です。

1日からだから出る水分は、尿や便、呼気や皮膚から合計約2,500mlにも及びます。失った水分はその日のうちに補給する必要があります。食事などから約1,300ml得られるので、残りの1,200ml分を飲水で摂ることが目安となります。(心臓病や腎臓病で水分

の制限をされている方は主治医の指導に従いましょう。) 通常より汗をかいたり、発熱したり、下痢・嘔吐をしたときは、いつも以上の水分が失われます。その時々体調に合わせた水分補給を心がけましょう。



特に、ご高齢の方の水分補給は、暑さや喉の渇きを感じにくくなっていることや、夜間のトイレを心配し控えてしまったり、独居でお茶を飲む相手がいない、などの理由から不足してしまうことがあります。

ご家族や周囲の方が気を付けてさしあげることが大切です。からだの水分は2%減ると、喉の渇きを感じ、この時、すでに脱水症状を起こしています。喉の渇きを感じる前の、こまめな水分補給を心がけて下さい。

飲み方は、一度にガブガブ飲むのではなく、コップ1杯(150ml~200ml)を、起きた時、食事やお茶の時、お風呂上り、寝る時など、日々の生活の中で時間を決め、意識して飲んでいただくことをお勧めします。

今年の夏も、上手な水分補給を習慣にして、元気に乗り切ってください。

栄養部 渡辺 美穂



皮膚科クイズ vol.2 (解答・解説)

A. ②番が爪白癬です。

(ちなみに、①は爪乾癬、③は爪扁平苔癬です。)

「爪白癬は、甘く見ていると、大きな病気になりかねません!ご注意を!」

白癬菌とは、いわゆる水虫の原因菌。白癬菌が足にいれば足白癬(水虫)で、爪の中に侵入すると爪白癬。この爪白癬は立派な感染症の一種で、爪の病気の中で多く見られます。白癬菌というのはカビの一種で、私たちの皮膚を覆っている角層や爪、髪の毛などに住み着いて感染症を引き起こします。他のカビと同様、高温多湿な環境が大好きです。肉眼で見るとはできませんが、顕微鏡で100倍にするとよく見えます。水虫の多くは家族内感染が主な原因といわれ、バスマットやスリッパなどを通じて感染します。家族できちんと治療することが大切です。爪白癬は、早期発見、早期治療が一番です。

通常、爪白癬は痛くも痒くもなく、多くが爪の色調の変化や変形などです。ですから、ついつい医療機関を受診せず、放置して悪化させてしまいがちです。しかし、爪白癬はもろくなった亀裂などから、細菌による二次感染などを引き起こし、足が腫れたり、基礎疾患をお持ちの方は稀に命を落とすような感染症にかかったりすることもあります。

爪白癬は、通常の水虫(足白癬)やたむし(体部白癬)などと異なり、厚い爪組織に感染しているため、外からの外用抗真菌薬が効きにくく、それだけでは治療が非常に困難です。しかし、現在では効果的な内服薬があり、平均半年前後で治療できる方が増えてきています。

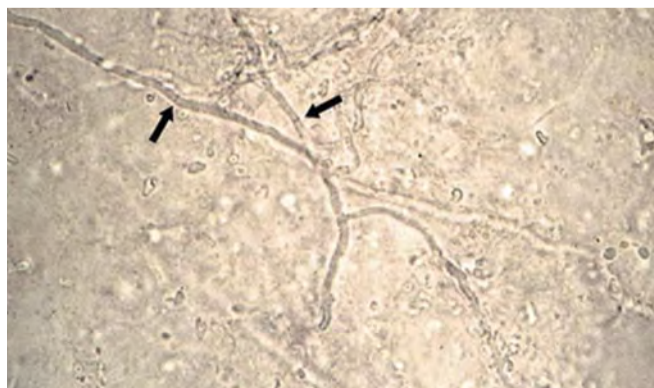
ただ、内服薬を使用する前に、まずは「正確な診断」が必要です。クイズにもあるように、爪が白い、爪が変形しているからと言って、全てが爪白癬とは限りません。病気が異なれば、治療も変わります。皮膚科では真菌鏡という、顕微鏡を使用してカビを見つける検査を行い、診断しています。自己判断で市販薬にて治療されたりするのはではなく、まずは「正確な診断」を受けて、効果的な内服治療で、今年こそ頑固な爪白癬を治しましょう。

〈足爪白癬の見分け方〉

ご自分の爪が、次のようになっている方は、ぜひ一度皮膚科を受診してみてください。

- 爪が厚く濁っている
- 爪の表面が黄白色～褐色の濁りがある
- 爪の表面は崩れてぼろぼろになっている
- 爪に筋が沢山通っている
- 爪の周りに炎症がある

写真②の真菌顕鏡像



矢印で示している、糸のようなものが、糸状菌といって水虫の原因菌です。

手の衛生を保つ



「風邪を引くから、家に帰ったらまず手洗いとうがい!」という話は、みなさん耳にタコができるくらい聞いてきたと思います。今回はこの「手洗い」についてお話しします。手洗いは様々な場面が必要になってきます。トイレに入った後、料理をする前、汚れてしまったときなど。今回の手洗いは、感染予防策としての手洗い方法です。みなさん普段行っている手洗いはおそらく、固形もしくは液体せっけんなどを手で立て、流水で流すという一連の流れを、7〜10秒くらいで行っていると思います。手の汚れを落とすだけが目的でしたらこれでも十分かもしれませんが、病原菌などを落とす目的の場合は30秒〜60秒かけて流水で流さな

いといけません。実際行ってみるとわかるのですが、このような手洗いを毎回行うのは大変です。ご家庭では用途に合った方法で手洗いを行うと良いでしょう。手指衛生にはもうひとつ消毒という方法があります。一般的なのはアルコール製剤による消毒です。目に見える汚れがない場合に用いられる方法で、飲食店やコンビニなどで店員さんが使っている光景を見たことがあると思います。この方法は、汚れがない場合には非常に効果的で、短時間しか行わない手洗いよりも衛生的です。しかし、使用方法が間違っていると、きちんと殺菌できません。よく見受けるのは、消毒薬のポンプを少しだけ押して、少量しか付けない。大抵のポン

プに入っている商品(シャンプーなども)は、最後まで押し切ること企業推奨する1回量が出る仕組みになっています。これはアルコール性消毒薬にも言えることで、液体状のものは1回量約3ml出るようになっていきます。量が多いと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、きちんと消毒するためにはこの量が適量です。また、手全体に広がるように良く擦り込むことも重要です。これら以外にも手指衛生の方法はありますが、重要なことはきちんと行うことです。場面によって使い分けて、手指衛生を保ちましょう。

薬剤部 鴨志田 聡

看護師就職説明会と花火大会

病院の屋上で花火を見よう!

病院屋上に特別席・お食事をご用意!

軽装・浴衣OK♪先輩ナースとの交流!

日時 2012年8月3日(金) 18:30~20:30

場所 水戸協同病院東棟4階講堂

内容 病院説明会・見学

千波湖花火大会&新人ナースとの交流会 ※雨天決行

申し込み FAX または病院HPから

氏名・学校名(学生の方)・年齢・住所・電話番号を記入してください。

FAX: 029-221-5137

ホームページ <http://www.mitokyodo-hp.jp/nurse/>



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院